

これまでのとりくみ

【学校教育目標】

自らの生き方を創る子どもの育成 ～一人ひとりの個性を生かす教育の推進～

【めざす子ども像】

○よく考え進んで学ぶ子ども ○最後までやりぬく子ども ○仲よく助け合う子ども

○基礎基本の学力の定着をめざして、

- ・朝学で音読や漢字、計算の反復練習にとり組んでいる。
- ・自主学習「家スタ」にとり組んでいる。
- ・日記など言語活動の充実にとり組んでいる。
- ・図書館司書と連携しながら、読書活動の充実にとり組んでいる。（読書タイムなど）

○学習規律の徹底をめざして、「佐野台小学校学習の5カ条」を定めている。

全国学力・学習状況調査の結果より

◆主な課題

- ・ことば（単語や熟語など）の意味理解に課題がある。
- ・文（問題文や選択肢など）の意味理解や文を読んで場面をイメージすることに課題がある。
- ・既習漢字の定着に課題がある。
- ・自分の考えの要点をまとめて記述することに課題がある。
- ・情報量が多い問題にとり組むことに課題がある。
- ・自分の考えをわかりやすく相手に伝えることに課題がある。
- ・必要な情報を選択し、活用することに課題がある。

◇主な成果

- ・視覚情報（絵や図など）をもとに考えることができる。
- ・答え方のモデルをもとに記述することができる。
- ・記述問題の回答率は比較的高い。（記述することへの抵抗感が少ない。）
- ・学習が好きな子どもが多い。
- ・問題の解き方がわからないときはいろいろな方法で考えようとする子どもが多い。

これからのとりくみ

★授業において

- ・語彙を増やす活動（読書や辞書の活用など）にとり組む。
- ・文章の要点をつかむ活動（キーワードに印をつける、文章を要約するなど）にとり組む。
- ・自分の考えをまとめる活動（マインドマップの活用など）にとり組む。
- ・意見交流をする機会を増やし、自分の考えを伝えたいと思う心情を育てる。
- ・基礎基本の学習（読み、書き、計算など）を徹底する。
- ・授業のふりかえりや日記など自分の考えを書く活動を充実させる。
- ・「家スタコンテスト」など学習意欲を高めるとり組みをしながら、自主学習「家スタ」を推進する。

★生活において

- ・1日の計画を立てたり、ふりかえりをしたりするなど自分のことを「見える化」するためにマイノートの活用を推進する。
- ・読書タイムや委員会活動、読書通帳の活用などを通じて、学校全体で読書を推進する。